

# 令和7年度東秩父村立槻川小学校 学校評価における成果と課題

学校評価にご協力いただきまして、ありがとうございました。よりよい学校づくりのために、教育に関わる児童・地域・家庭・学校のそれぞれの立場から今年度の教育を振り返り、成果と課題(改善策)を以下のようにまとめました。

## I 評価者(令和7年12月実施)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1 児童        | 56名(回答率100%)  |
| 2 保護者(延べ人数) | 47名(回答率83.9%) |
| 3 教職員       | 13名(回答率100%)  |
| 4 学校関係者     | 7名(回答率87.5%)  |

## II 学校評価集計結果(P3~P5参照)

<評価の基準>	☆ 十分な成果をあげているもの(肯定率95%以上の項目)
	★ 十分とは言えないもの (肯定率85%未満の項目)

## III 成果と課題(改善策) ※児童1→児童アンケート1番目の項目、他も同様。

### 1 成果

#### ①学校生活

・児童 1「先生は、勉強をわかりやすく教えてくださいませんか」98.2% 児童 2「授業中、先生はあなたの質問や意見を聞いてくれますか。」98.2% 児童 4「あなた(の学級)は、助け合ったり、はげまし合ったりできていますか。」96.4% 保護者 2「学校行事が充実しており、学校の様子がよくわかる。」100% 保護者 6「教職員は、わかりやすい授業を行っている。」95.7% 保護者 11「教職員は、児童の間違った行動に対し、適切に指導している。」97.9% 保護者 12「教職員は、保護者への連絡をきめ細やかに行っている。」95.7%であった。

○子供たちは、自身の努力や仲間との関わり合い、さまざまな経験を積み重ねる中で、学びに前向きに取り組む姿を見せるようになってきている。日々の学校生活を通して、自ら考え行動する力が育成されつつあることが結果となって表れていると考える。

○昨年度同様に、業務改善を行いながら、教職員が日々の授業準備や校内研修等を通して指導力の向上に向けて日々研鑽を続けてきたことが、児童生徒の学習意欲の向上につながったと考える。今後も本校は、

- ◎学校生活を可視化し、保護者と共有する姿勢
- ◎安心・安全で整った学習環境づくり
- ◎家庭と丁寧なコミュニケーション
- ◎児童一人一人を大切に生活指導

を継続的に実践し、さらなる教育活動の充実を図っていくことが重要だと考える。

#### ②学校環境・教育環境整備

・児童 10「あなたは、そうじをしっかりとできていますか。」96.4% 保護者 4「学校は、環境美化に意識が高く、学習環境が整っている。」100%であった。

○本校では縦割り班による清掃活動を行っており、上級生が下級生に声をかけたり、手本となって行

動したりしている。このような活動を通して、清掃への主体的な取組や責任感が育まれていると考えられる。日常的に校内環境を整えていることが、目に見える形で学校生活全体の落ち着きや学習環境の充実につながっていることも考えられる。

### ③人権・道徳教育

・児童 4「あなたの学級は、助け合ったり、励まし合ったりできていますか。」96.4% 児童 12「あなたは友達に優しくできていますか」92.9% 保護者 16「槻川小の児童は、友達と仲良くしている。」97.9%であった。

○昨年度に引き続き、人権教育・道徳教育では、研究主任、分掌主任を中心に、教職員の研修を行っている。また、学校課題研修においても、コミュニケーション能力を高めるための取組を行いながら、他者との関わり合いをもつ、学び合い学習を実践している。多角的な視点を取り入れた学びができたことで豊かな心の育成につながったと考える。

## 2 課題と改善策

①基本的な生活習慣の確立 ※( )の数字はR6年度のもの。

・児童 9「あなたは先生や友達、地域の人に進んで気持ちの良いあいさつができていますか。」82.1% (87.5%) 保護者 15「槻川小の児童はよく挨拶をしている」68.1%(74%)

○児童・保護者ともに課題意識が共有されている結果となった。昨年度よりPTAと連携したあいさつ活動に取り組んでいるが、行動としての定着には引き続き時間を要する状況である。今後は、日常の学校生活全体を通じた継続的な取組により、あいさつが自然に行われる学校風土の醸成を図っていく。

②自己肯定感の重要性

・児童 15「あなたは、自分のよいところと言えますか」67.9%(66.1%)

○自己肯定感については、昨年度に引き続き本校の課題であり、重点項目として全教育活動を通して取り組んでいるが、現状では十分な向上が見られていない。今後も児童一人一人が認められ、役割をもって活躍できる場面を意図的に設定するとともに、日常の関わりや振り返りの工夫を通して、自己を肯定的に捉えられる力の育成を図っていく。子供たちが充実した学校生活を送れるよう、職員が共通理解のもと、継続的に教育活動を推進していく。

③記述欄

・記述欄に関しても建設的な意見を多数いただいた。職員で検討し可能な事は反映していく。

# 令和7年度 学校評価 < 教職員 >

東秩父村立槻川小学校

肯定評価（４・・・よくあてはまる ３・・・だいたいあてはまる） 否定評価（２・・・あまりあてはまらない １・・・全くあてはまらない）

項目	No.	評価の観点	R7肯定率	R6肯定率	成果課題
学校教育目標	1	教育目標達成のための具体的な取組が行えたか。	100.0%	100.0%	☆
	2	校務の組織活動は協力して行うことができたか。	100.0%	100.0%	☆
学年学級経営	3	学年・学級目標達成のための具体的な取組が行えたか。	100.0%	100.0%	☆
	4	学年やブロック内での共通理解が図られ、協力して取り組めた。	100.0%	100.0%	☆
	5	自己評価シートの考えを生かして学級経営ができたか。	100.0%	91.6%	☆
教育計画・教科指導	6	年間指導計画や行事予定計画、日課表などの編成は、児童の実態や前年度の反省を考慮して作成されている。	100.0%	100.0%	☆
	7	授業時数の確保に努めている。	100.0%	100.0%	☆
	8	教材研究・指導方法の改善が行われたか。	100.0%	100.0%	☆
	9	授業のまとめ・振り返りで学びを定着させることができたか (めあてとまとめの正対・振り返りの視点)	100.0%		☆
	10	各教科の指導は、基礎的・基本的な事項に十分配慮し、教科の精選などを図り、基礎学力が定着するように計画している。	100.0%	100.0%	☆
	11	タブレット（ICT）を活用した授業を行うことができた	100.0%	91.6%	☆
	12	評価を生かした授業の改善を図ることができた。	100.0%	100.0%	☆
道徳	13	道徳について、年間指導計画に基づく計画的な指導や教材等の活用ができた。	90.0%	100.0%	☆
	14	全ての教育活動を通じ、道徳的実践力を育成している。	100.0%	100.0%	☆
人権	15	人権教育について、児童に人権を尊重する態度を（特に挨拶をすることについて）養うことができた。	100.0%	100.0%	☆
生徒指導・教育相談	16	全教職員が、特別な教育的支援を必要とする児童の理解を深め、指導・支援に協力して取り組んでいる。	100.0%	100.0%	☆
	17	生徒指導について、指導計画や指導方針が適切に設定され、豊かな心が育つように、全教職員が共通理解のもとで指導にあたっている。	100.0%	100.0%	☆
	18	緊急を要する事態や突発的な問題行動に対して、職員が一丸となって関係機関等と連携し、組織的な対応をとることができている。	100.0%	100.0%	☆
	19	教育相談について、教育相談を効果的に行うことができた。	90.0%	100.0%	☆
	20	家庭との連携、協力体制が行われているか。	100.0%	100.0%	☆
家庭・地域との連携	21	PTAについて、組織・運営は適切である。	100.0%	100.0%	☆
	22	PTA、保護者、地域の意向を踏まえ、十分に連携し、教育活動（学校行事・授業）が行われている。	100.0%	100.0%	☆
情報等の管理	23	会計管理、執行を適切に行うことができた。	100.0%	100.0%	☆
	24	諸表簿（通知表を含む）は、正しく整えられ、適切に管理されている。	100.0%	100.0%	☆
	25	児童・保護者等の個人情報の管理は適切に行われている。	100.0%	100.0%	☆
	26	施設・設備の安全点検が適切に行われ、教材備品の管理・活用が適切に行われている。	100.0%	100.0%	☆

# 令和7年度 学校評価 < 教職員 >

東秩父村立槻川小学校

肯定評価（４・・・よくあてはまる ３・・・だいたいあてはまる） 否定評価（２・・・あまりあてはまらない １・・・全くあてはまらない）

項目	No.	評価の観点	R7肯定率	R6肯定率	成果課題
教職員の姿勢	27	服務規則を守り、明るく元気な職場づくりに努力している。	100.0%	100.0%	☆
	28	児童の個性や人権を尊重し、児童理解と支援に努めている。	100.0%	100.0%	☆
校務分掌等	29	校務分掌について、関係職員が連携を図りながら、校務分掌に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	☆
	30	各種部会（企画・体育・特活・安全等）は、建設的な議論をもとに進められている。	100.0%	100.0%	☆
研究・研修	31	校内研修について、授業研究等、年間を通して計画的に研修に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	☆
	32	校内研修について、教職員の専門性向上のため、意欲的に取り組んでいる。	100.0%	100.0%	☆
特別活動	33	児童が主体的に学級活動や委員会活動、クラブ活動に取り組むことができるようにしている。	100.0%	100.0%	☆
	34	キャリア教育について、計画的、系統的なキャリア教育を行うことができた。	100.0%	100.0%	☆
その他の指導	35	総合的な学習の時間について全体計画は適切であった。	100.0%	100.0%	☆
	36	生活科や総合的な学習に時間について、学習のねらいを踏まえて、主体的に学習に取り組ませる指導がなされている。	100.0%	100.0%	☆
	37	外国語、外国語活動が計画的に実施され、適切な指導がなされている。	100.0%	100.0%	☆
	38	発達段階に応じた環境教育がなされている。	100.0%	100.0%	☆
	39	図書館教育・読書指導について、授業や行事で児童が積極的に活用するよう指導している。	100.0%	91.6%	☆

## 令和7年度 教育活動アンケート・集計結果〈保護者〉

肯定評価(4・・・よくあてはまる 3・・・だいたいあてはまる) 否定評価(2・・・あまりあてはまらない 1・・・全くあてはまらない)

No	質問内容	4	3	2	1	令和7 肯定率	令和6 肯定率	成果 課題
1	学校は、教育方針を家庭にわかりやすく伝えている。	20	26	1	0	97.9%	98.0%	☆
2	学校行事が充実しており、学校の様子がよくわかる。	18	29	0	0	100.0%	98.0%	☆
3	委員会やクラブ活動には、教育効果がある。	25	21	1	0	97.9%	98.0%	☆
4	学校は、環境美化に意識が高く、学習環境が整っている。	24	23	0	0	100.0%	98.0%	☆
5	学校は、保護者の願いに応えている。	12	32	3	0	93.6%	96.0%	
6	教職員は、わかりやすい授業を行っている。	19	26	1	1	95.7%	100.0%	☆
7	宿題の出し方はや量は適切である。	13	29	5	0	89.4%	88.2%	
8	教職員は、授業や通知表で、児童の学習や生活について適切に評価している。	18	27	2	0	95.7%	98.0%	☆
9	教職員は、児童に、社会規範や身だしなみ、時間等の指導をしっかり行っている。	17	29	1	0	97.9%	96.1%	☆
10	教職員は、児童をよく理解し、悩みや相談に対して真剣に対応している。	18	28	1	0	97.9%	98.0%	☆
11	教職員は、児童の間違った行動に対し、適切に指導している。	14	32	0	1	97.9%	98.0%	☆
12	教職員は、保護者への連絡をきめ細やかに行っている。	16	29	1	1	95.7%	100.0%	☆
13	教職員は、PTAや地域の行事に協力的である。	13	30	4	0	91.5%	94.1%	
14	槻川小の児童は、進んで学習に取り組んでいる。	12	33	1	1	95.7%	92.2%	☆
15	槻川小の児童はよく挨拶をしている。	11	21	10	5	68.1%	74.0%	★
16	槻川小の児童は、友達と仲良くしている。	21	25	1	0	97.9%	98.0%	☆
17	槻川小の児童は、体育の授業や外遊びを通して健康な体作りをしている。	10	35	2	0	95.7%	92.0%	☆
18	家庭では、子供に挨拶ができるようにしている。	18	27	2	0	95.7%	98.0%	☆
19	家庭では、子どもに呼ばれたら「返事」ができるようにしている。	18	29	0	0	100.0%	98.0%	☆
20	家庭では、子供に「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるようにしている。	17	29	1	0	97.9%	100.0%	☆

・記述欄に記入いただいたご意見の中から、次年度に向けて取組の方向性が出ているものを示します。

記述欄のご意見(要点)	改善案及び対応
アンケートを匿名で行われた方がよいかと思う。	学校評価は、満足度調査ではなく、改善に活かすことが目的です。記名式にさせていただくことで、自分の意見に責任をもち、建設的な提案や改善策を検討しやすくするようにしています。学校と保護者・地域との信頼関係を深めるための取組として、協働して学校づくりをしていきたいと考えています。
「ありがとう」は言えるけど、「ごめんなさい」とはあまり言えない気がする。	「ありがとう」や「ごめんなさい」は社会的スキルとして非常に重要なコミュニケーションです。学校では、謝ることは悪いことではなく、関係をよくするための行動であることを指導しています。ご家庭でも、失敗したときに『どうしたらよかったかな?』と一緒に考えることで、謝る力が育っていきますので、ぜひご協力をお願いします。
クラブ活動・委員会活動に関してはどんな活動をしているのか分からないので評価しづらい。	委員会・クラブ活動は、異学年(本校は4年～6年)の仲間と協力しながら、児童が自分たちの役割をもち計画運営に関わる場です。その経験を通して、主体的に学ぶ力が育つことを目的としています。今後もさらに児童の活動の様子をHPや学校だより、学級だより等で、紹介していきます。

## 令和7年度 学校生活アンケート< 全校児童 >

肯定評価(4・・・よくあてはまる 3・・・だいたいあてはまる) 否定評価(2・・・あまりあてはまらない 1・・・全くあてはまらない)

No	質問内容	4	3	2	1	令和7 肯定率	令和6 肯定率	成果 課題
1	先生は、勉強をわかりやすく教えてくださいませんか。	36	19	0	1	98.2%	96.4%	☆
2	授業中、先生はあなたの質問や意見を聞いてくれますか。	31	24	0	1	98.2%	94.6%	☆
3	あなたは勉強したことがしょうらい役に立つと思いますか。	35	17	3	1	92.9%	87.5%	
4	あなた(の学級)は、助け合ったり、はげまし合ったりできていますか。	28	26	1	1	96.4%	91.1%	☆
5	あなたの学級は、自分の係活動などの仕事を最後までしっかりやっていますか。	27	22	5	2	87.5%	91.1%	
6	あなたは、学級がよくなるようがんばっていますか。	22	20	11	3	75.0%	82.1%	★
7	あなたは、学校行事に一生けん命取り組んでいますか。	32	19	3	2	91.1%	92.9%	
8	学校は楽しいですか。	31	17	5	3	85.7%	83.9%	
9	あなたは先生や友達、地域の人に進んで気持ちの良いあいさつができていますか。	26	20	9	1	82.1%	87.5%	★
10	あなたは、そうじをしっかりとできていますか。	30	24	2	0	96.4%	96.4%	☆
11	あなたは時間を守って行動していますか。	23	24	9	0	83.9%	91.1%	★
12	あなたは、友達に優しくできていますか。	30	22	4	0	92.9%	91.1%	
13	あなたは、何でも話せる友達がいいますか。	32	15	6	3	83.9%	83.9%	★
14	先生方は、あなたの悩みや相談を聞いてくれますか。	33	20	0	3	94.6%	92.9%	
15	あなたは、自分のよいところが言えますか。	13	25	8	10	67.9%	66.1%	★
16	あなたには、将来の夢ややってみたい仕事はありますか。	38	11	3	4	87.5%	89.3%	
17	あなたは、委員会活動やクラブ活動で自分の仕事に責任をもち、果たしていますか。(高学年のみ)	8	17	4	0	86.2%	87.9%	

〈令和7年度 学校関係者からいただいた評価記入内容抜粋〉

- ・学校・児童・家庭・地域のコミュニケーションがよく取れており、それが教育活動や学校の運営の充実につながっていると思う。
- ・各評価項目の肯定率が一部が90%で、残りのほとんどの項目が100%の成果を上げているのは素晴らしい。
- ・課題と改善策で「児童が先生、友達、地域の人に進んで挨拶ができていない」ところは、お互いに自然に挨拶ができる様、特に大人が進んで先に挨拶をし無理強いをしないことが大切と思う。
- ・自己肯定感「自分の良いところと言えない」ところは、自分に自信がつけば自然と言えるようになると思うので、児童の成長に期待する。
- ・全体的によい。複式学級や小中一貫など新しい取組については、丁寧に進めていってもらえればと思う。HPを有効に活用して村内外へのアピールができればよいと思う。
- ・年間行事が多く、先生方は忙しく大変そうに感じる。その中で盗撮事件が世間を騒がせた時も、速やかに対応してくれたことに本当に安心した。また、他市町村では、分からないことを先生に聞くことはできないそうだが、本村は先生に聞ける関係があり嬉しい。校務員の西さんがいつも学校をきれいにしてくれていてとてもありがたい。
- ・文化財見学や和紙漉体験、米作り体験などの体験活動は、郷土愛を醸成する上で、とても大切。地域住民との関わりの中で学ぶことも多く今後も続けてほしい。
- ・挨拶に関する自己評価が低いことが気になる。挨拶は良好な人間関係を形成する上で重要。家庭においても学校においても粘り強く声がけをしていく必要がある。
- ・保護者、児童からの勉強面、行事面での評価は高く、先生方の努力等がうかがえる。
- ・行事、授業風景共に和やかで、児童が進んで参加、学んでいるように感じた。緊急事案等に対しての対応がとても早く行われていると感じた。
- ・児童一人一人を大切に、きめ細やかな指導に努めている。
- ・学びの場を工夫し充実させ、児童に目標を達成させている。
- ・児童は、学習や学校行事に精一杯頑張っていることがわかる。
- ・教職員評価の肯定率が高いことは、頑張っている証拠である。